

9/15 青森県健康づくり事業功労者等表彰式

地域の皆さんの健康を第一に考える

松田邦子さんは、長年、栄養・食生活面などの健康づくり事業に貢献した人に授与される「青森県健康づくり事業功労者等表彰」を受賞したことについて松尾和彦町長に報告するため、役場を訪れました。

松田さんは、三戸町食生活改善推進員になった昭和60年から現在まで「私たちの健康は私たちの手で」を合い言葉に、主に食生活面から地域の健康推進のため、活動してきました。平成22年からは食生活改善推進員会の会長に就任しており、現在は、三戸町の健康増進計画にある「食卓にプラス一皿さんのへ野菜」をスローガンに、地産地消や、県がすすめる「だし活」の普及にも積極的に取り組んでいます。

松尾町長は「これからも、町の健康増進に貢献していただきたい」と感謝の言葉を述べました。松田さんは「皆さんの健康を第一に考え、これからも活動していきたいです」と抱負を述べました。



松尾町長（左）、松田さん（右）



子連れのお出かけをサポート！

9/21 道の駅が「子育て応援自動販売機」を設置  
子育て世代を応援するために

道の駅さんのへ共同事業体（藤村立夫駅長）は、町の子育て支援を応援するため、赤ちゃん用の紙おむつ・お尻ふきが購入できる「子育て応援自動販売機」を、トイレ入り口に設置しました。

県内の道の駅に紙おむつ自動販売機が設置されるのは初。紙おむつはパンツタイプの2枚入りでMとLサイズ、お尻ふきは70枚入りで、各240円で販売されています。飲料も同時に購入することができ、取り出し口は紙おむつ・お尻ふき用と飲料用に分かれています。飲料は女性と子ども向けの商品が中心に販売されています。

藤村駅長は「この自販機を設置することで、子育て世代が紙おむつの心配をしないで外出できれば嬉しい」と話しました。

設置された  
紙おむつ自動販売機



10/5～15 令和3年「老人の日」各受賞者へ表彰訪問  
長寿を祝い、100人、12組が表彰される

町では、多年にわたり社会で御尽力された高齢者の長寿を祝う敬老会を開催しています。昨年度に引き続き、ことしも新型コロナウイルス感染症予防のため、中止となりましたが、敬老会で表彰予定だった100歳2人（国と県から）、88歳夫婦12組（県から）、数え年88歳98人（町から）には、自宅や施設などで松尾和彦町長から顕彰状と記念品が手渡されました。

88歳夫婦として表彰された小野清美さん・八重子さんは「息子夫婦が作ってくれる朝・晩ご飯のおかげで、2人とも元気に過ごせています」と、元気の秘けつを話しました。



（左から）松尾町長、小野八重子さん、清美さん

## 9/29 固定資産評価審査委員選任書交付式

### 中立な立場で審査業務に従事

熊林正美さんに、松尾和彦町長から固定資産評価審査委員の選任書が交付されました。

熊林さんは、これまで平成 21 年から約 12 年間にわたり固定資産評価審査委員として、また平成 24 年からは委員会委員長として業務に携わっており、今回が 6 期目の選任となります。松尾町長は「これまでの経験を生かし、業務に励んでほしい」と激励の言葉を述べました。熊林さんは「中立性を保ち、間違いなく審査を行っていききたい」と抱負を述べました。



松尾町長（左）、熊林さん（右）



松尾町長（左）、石亀支部長（右）

## 10/1 法人会が町に図書カードを寄贈

### 子どもたちに多くの本を読んでほしい

八戸法人会三戸支部（石亀和郎支部長）が、子どもたちに読書を推進するため、町に 3 万円分の図書カードを寄贈しました。この事業は、ことしで 12 年目を迎えました。町では、これまで寄贈いただいた図書を法人会専用の図書コーナーに蔵書しています。石亀支部長は「読書で活字に触れる機会を増やすことで、学力向上にもつながる。子どもたちに多くの本を読んで欲しい」と話し、松尾和彦町長に図書カードを手渡しました。松尾町長は「良書を選び、子どもたちの学びに役立てられるよう努めていきたい」とお礼の言葉を述べました。

## 10/1 教育委員会委員選任式

### 子どもたちの学力向上に貢献したい

小山田孝兆よしかずさんに、松尾和彦町長から教育委員会委員の選任書が交付されました。

小山田さんは、これまで平成 21 年から約 12 年間にわたり教育委員会委員として業務に携わっており、今回が 4 期目の選任となります。現在は学習塾の経営も行っています。松尾町長は「これまでの経験を生かし、今後も教育の大切さを広めてほしい」と話しました。小山田さんは「これからも、町の子どもの学力向上に貢献していきたい」と意欲を語りました。



選任書を受け取る小山田さん



（左から）馬場代表理事常務、慶長教育長

## 10/12 JA 八戸が町内小学校に「検温消毒器」を寄贈

### 子どもたちの健康に役立ててほしい

八戸農業協同組合（山美喜正代表理事組合長）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、町内小学校と町教育委員会事務局に計 4 台の「非接触型検温消毒器」を寄贈しました。八戸農業協同組合の馬場隆代表理事常務は「地域の宝である子どもたちのため、感染予防に役立ててほしい」と話し、慶長隆光教育長に検温消毒器を手渡しました。慶長教育長は「消毒を習慣化させることが大事。予防のため、有効に活用させていただきます」と感謝を述べました。